



▲20歳の誓いの言葉を述べる新成人代表の小川さん（中央）と松岡さん（右）



▲スーツや色鮮やかな振袖に身をまとった新成人

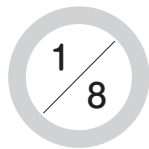
輝く未来へ進もう 君たちの力で

平成29年登別市成人祭

1月8日(日)、市民会館で、20歳の節目を迎えた1996(平成8)年4月2日〜1997(平成9)年4月1日生まれの新成人を祝う『平成29年登別市成人祭』(同実行委員会・市教育委員会主催)を開催しました。

今年、男性164人、女性197人の計361人が出席。新成人代表の小川翔太郎さんと松岡小鳩さんは、育ててくれた家族や支えてくれた方に対して感謝の気持ちを伝え「切磋琢磨し、何事にも積極的に取り組む」、「勇気を持って何事にも挑戦する」と力強く20歳の誓いを述べました。

式典後のアトラクションでは、中学校時代の恩師からのビデオレター上映や卒業中学校対抗ゲーム、卒業中学校別の記念撮影などが行われ、参加者は、旧友と共に成人の喜びを分かち合いました。



伝統の演技で安全な 一年を

平成29年登別市消防出初式

1月7日(土)、市民会館で『平成29年登別市消防出初式』(市主催)を開催し、安全・安心の誓いを新たに、平穏な一年を願いました。

関係者約140人が集まり、消防職員・団員による力強い分列行進を行ったほか、西胆振鷹土木工事業連合組合、西胆振若鷹会、千歳鷹土木工業組合、千歳若鷹会の皆さんによる『纏振り』や『はしご乗り』などの伝統芸が披露されました。

江戸時代から伝わる『はしご乗り』では、高さ約6メートルの上から次々と技を決め、会場に大きな拍手が湧きました。



▲今年で最後となる青葉スケートリンクでの滑りを楽しむ児童

今年で最後のスケート

初心者スケート教室

1月14日(土)・15日(日)、青葉スケートリンクで『初心者スケート教室』(文化・スポーツ振興財団主催)が開催されました。

青葉スケートリンクは、30年前の昭和62年に開設。住民や保護者、学校などで青葉スケートリンク実行委員会を立ち上げ、当番制で水まきをするなど管理されてきましたが、近年は暖冬が続き、リンクの維持が困難となってきたことから、今季を最後に閉設することとなりました。今回の教室に参加した小学1・2年生約30人の子どもたちは、今年で最後となるスケート教室を心から楽しみました。



▲華麗な技で見る者を魅了したとび職人たちの『はしご乗り』



▲まといを力強く振り回し、仲間たちの士気を高めた『纏振り』